

# 資料編



## 資料編

## 策定経過等

日程		内容
平成 30 年	5 月	土地利用計画策定委員会（改定基本方針について協議）
	6 月	都市計画審議会（改定基本方針意見聴取）
	7 月	改定基本方針パブリックコメント（15 日間）
	8 月	関係部署との調整
	9 月	関係部署との調整
	10 月	関係部署との調整
	11 月	土地利用計画策定委員会（改定案について協議）
	12 月	都市計画審議会（改定案審議）
		土地利用計画策定委員会（改定案意見聴取）
改定案パブリックコメント（32 日間）		
平成 31 年	1 月	長野県協議等
	2 月	土地利用計画策定委員会（改定案協議）
		都市計画審議会（諮問・答申）
3 月	公告	

## 千曲市都市計画審議会委員名簿

(敬称略 順不同)

役職	氏名	所属団体等
会長	滝沢 英雄	千曲商工会議所
委員	荻原光太郎	千曲市議会
委員	袖山 廣雄	千曲市議会建設経済常任委員会
委員	遠藤 典男	長野工業高等専門学校環境都市工学科
委員	宮川 光男	戸倉上山田商工会
委員	荒井 忠男	千曲市農業委員会
委員	海野 政也	長野県建築士会埴科支部
委員	穴戸 誠	千曲建設事務所
委員	山崎 章子	千曲市男女共同参画推進連絡協議会
委員	窪田 忠功	科野青年会議所
委員	柳原 康廣	区長会連合会
委員	曾根 直好	区長会連合会
委員	町田 裕昭	公募市民

※任期：平成 29 年 4 月 1 日 ~平成 31 年 3 月 31 日

## 用語解説

### あ行

#### アメニティ

一般的には環境などの快適さのこと。特に都市計画で、空間・風景・建物などの緑が多い、街並みやその他景観が優れているなどの快適さのこと。

#### ICT（アイシーティー）

ICT（Information and Communications Technology）。情報通信技術のこと。今後のユビキタスネット社会において、誰でも簡単にネットに接続することにより、多様で自由かつ便利な「コミュニケーション」を実現していくことが重要とされている。

#### いっすい 溢水

川などの水があふれ出ること。

#### 延焼遮断帯

大地震の発生時等において、主に道路、河川、公園、鉄道等の都市施設を活用し、必要に応じてこれらの施設とその沿道等の燃えにくい建築物を組み合わせることにより、市街地における火災の延焼を防止する役割を担う施設のこと。

#### オープンスペース

建築物などの建っていない空間で、公園などの公共空間だけではなく、社寺の境内や学校の運動場なども含む。

### か行

#### 外来動植物

自然に、あるいは鑑賞用、有用種として人為的に外国から入ってきた生物の種類。外来種は在来の生物種や生態系にさまざまな影響を及ぼし、在来種の絶滅を招くような重大な影響を与えるものもある。

## コミュニティ

日常生活のふれあいや共同の活動、共通の経験をとおして生み出されるお互いの連帯感や共同意識と信頼関係を築きながら、自分たちが住んでいる地域をみんなの力で自主的に住みよくしていく地域社会の意味。

## コンパクト・プラス・ネットワーク

医療・福祉施設、商業施設といった都市施設や住居等がまとまって立地し、空間的な密度を高めながら、公共交通のネットワークによりそれらにアクセス可能な都市。

## さ行

### 自助・共助・公助

自助：自分の身を自分の努力によって助けること。

共助：近隣の住民が互いに助け合うこと。

公助：行政機関など公の組織によって助けること。

### 循環型社会

製品等の廃棄物が抑制され、循環資源になった場合、適正に循環的な利用が行われることが促進され、また、循環的な利用が行われない循環資源については適正な処分がなされることにより、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。

### スプロール化

市街地の周辺部などにおいて、農地などが虫食い状に開発されて、無秩序に拡大してゆく現象。

### スマートインターチェンジ

ETC 専用のインターチェンジ。高速道路において、効率的に追加インターチェンジの整備を図るため、地方公共団体の発意によりスマートインターチェンジを整備し、高速道路の利便性の向上、地域生活の充実、地域の活性化に寄与。

## た行

### 多自然川づくり

河川が本来有している生物の生息環境や多様な景観を保全・創出し、治水・利水機能と環境機能を両立させた河川管理のこと。

### たんすい 湛水

排水能力の不足などにより農地などに不要な水がたまってしまうこと。

### 都市的土地利用

道路や宅地（住宅地、工業用地など）としての土地利用。

### 都市のスポンジ化

都市の市街地などに、空地や空家が時間的にも空間的にもランダムに現れる現象。都市のスポンジ化が進むと人口密度が低下し、都市の魅力、生活利便性や価値が下がるなど様々な問題が起こるとされる。

### 低未利用地

適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間に渡り利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称。「未利用地」の具体例としては、空き地、空き家、空き店舗、工場跡地のほか、耕作放棄地、管理を放棄された森林などが挙げられ、「低利用地」としては、暫定的（一時的）に利用されている資材置場や青空駐車場などが挙げられる。

### デマンド交通

利用者が電話、専用端末、インターネットなどの通信手段により、バス運行会社などに利用の手続きを行うと、利用者数や位置に応じて路線を設定したり、バスに情報が即座に伝えられ希望する場所や停留所まで迂回するような、効率的なバス運行システム。

## な行

### のりめんようへき 法面擁壁

斜面の土砂がくずれるのを防ぐために設ける土留め構造物。構造によって石積み擁壁、ブロック積み擁壁、重力式擁壁、半重力式擁壁、片持ち梁式擁壁（逆T型、L型、逆L型）、控え壁式擁壁などに分けられる。また、近年では補強土工法による擁壁もある。

## は行

### パーク・アンド・ライド

都市部や観光地などの交通渋滞の緩和のため、自宅から最寄りの駅またはバス停まで自家用車で行き、周辺の駐車場に駐車した後、鉄道やバス等の公共交通機関に乗り換えて目的地に行くシステム。

### Park-PFI（パークピーエフアイ）

都市公園における公募設置管理制度。飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度のこと。

### ハザードマップ

自然災害による被害を予測し、その範囲を地図上に示したもの。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲やその程度、また避難経路、避難場所などの情報が記載されている。

### バリアフリー

段差などの物理的障壁の除去をいう。また、高齢者等の社会生活を困難にしている社会的、制度的、物理的なすべての障壁の除去という意味でも使われる。

### パリ協定

2015年12月にパリにおいて開催されたCOP21（第21回気候変動枠組条約締約国会議）で採択された気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定。2020年以降の地球温暖化対策の国際的な枠組が定められた。

## ボトルネック

道路網又は道路の一部区間において、交通容量が前後の区間に比べ小さいために、そこを流れる交通のさまたげとなっている地点又は区間。

## 防災ガイドブック

市民が自主的な防災対策を行ううえでの情報提供を目的として、家庭や職場周辺の身近な災害や危険性の周知と避難場所・避難施設等を紹介する冊子。

## ま行

### 水辺の楽校<sup>がっこう</sup>

川を「楽しみ」ながら「学習」できる場所（学校）ということで、「楽校」と名づけられている。国土交通省、文部科学省、環境省の3省が連携して「子どもの水辺」再発見プロジェクトに取り組んでいる箇所において、水辺での活動を安全に行うとともに、充実したものとするために必要な場合、「水辺の楽校プロジェクト」として自然を極力残しつつ必要な整備を実施する。

## モータリゼーション

自動車が生活必需品として普及する現象。自動車の大衆化。

## モーダルコネクト

バス・乗用車・自転車・徒歩等多様な交通モード間の接続

### 猛禽類<sup>もうきんるい</sup>

鋭い爪と嘴を持ち、他の動物を捕食（または死食）する習性のある鳥類の総称。ワシ、タカ、コンドル、フクロウなどが代表的。多くは広い縄張りを持ち、その内部で狩りを行うが、人間の活動によりこのような環境が破壊されているため、絶滅を危惧されている。

## モニタリング

自然環境や周辺環境の状態や変化、汚染の状況などを監視・観察して記録すること。環境に影響を及ぼしていないか、常時あるいは定期的に行う。



## や行

### ユニバーサルデザイン

高齢であることや障害の有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

## ら行

### ライフライン

都市生活の維持に必要不可欠な、電気・ガス・水道・通信・輸送などを総称したもの。

### レッドデータブック

絶滅のおそれのある野生生物の種についてそれらの生息状況等を取りまとめたもの。国、県、市町村等が出しているものがある。

## わ行

### ワイヤーセンサー

土石流がワイヤーを切断した際に発生する信号を検知するシステム。構造が簡単でメンテナンスも比較的平易なシステム。動物の移動や落石により切断されることもあるので、定点カメラと併用されることもある。